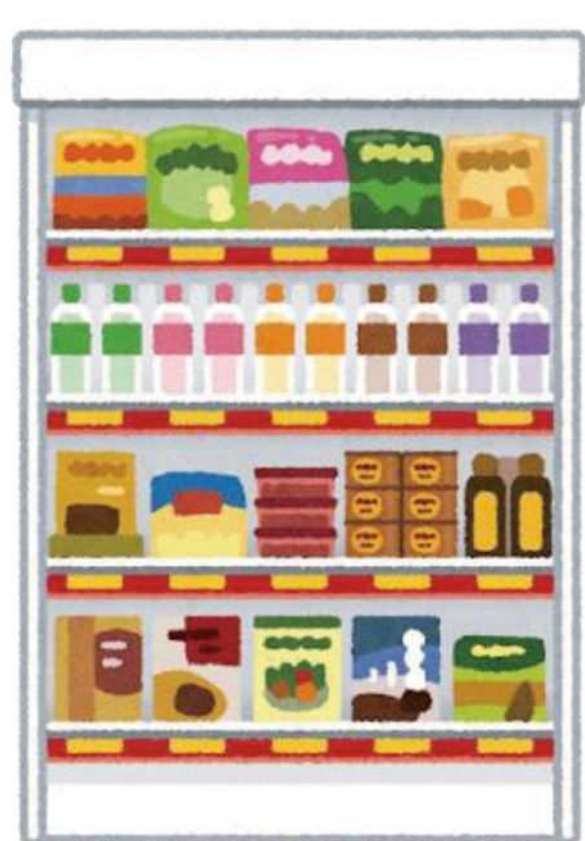


小学校 高

お店屋さんで

お母さんの買い物についていった時に、おかしコーナーの高い所にほしい物があり、取れなくて困っている子がいました。私は、その子を取ろうとしていたおかしを取ってあげました。すると、その子はずかしそうに、「ありがとうございます。」と言ってくれたので、うれしかったです。妹が「お姉ちゃんやさしいね。」と言ってくれたので周りの空気が温かくなった感じがして、やってよかった、と思いました。私にとってわすれられない一日になりました。



小学校 高

曾祖母と過ごす日

「あんたが一番だよ。」と曾祖母は一日に何回も同じことを言います。病気ですぐに忘れてしまうからです。曾祖母の言葉は僕を思うからこそなので、何度も同じ話を聞くことは、僕にとっては嬉しいことで、いつも曾祖母とニコニコしながら沢山会話をしています。分からなくならないように、忘れないように、遊びに行くことが僕役目です。

